

建設経済新聞第1面

技士補など新試験制度 対応講座を開講

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる他、自分のペースで学習できる点も特徴となっている。

施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技師は、主任技術者の有資格者を加えて監理技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することの監理技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の



ウェブコースの受講イメージ

存在がより重要になるを想定し、二次検定が難化する傾向を見込んだ講座内容としている。

同社では施工管理技師の他、第一種・第二種電気工事士や電験三種など多くの建設系資格講座を開講している。

北海道建設新聞第4面

施工管理技術検定改正に備え

日本建設情報センター 「技士補」など新試験 制度対応の講座開講

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予

想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる。他、自分のペースで学習できる点も特徴となっている。



「一級」で学習できる点も特徴となっている。

「一級」で学習できる点も特徴となっている。施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技師は、主任技術者の有資格者を加えて監理技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することの監理技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、二次検定が難化することを見込んだ講座内容とした。

同社では施工管理技師の他、第一種・第二種電気工事士や電験三種など多くの建設系資格講座を開講している。

大分建設新聞第1面

新試験制度 の対応講座

日本建設情報センター

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがある。



り、繰り返し見直すことができるほか、自分のペースで学習できる点も特徴となっている。

施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技師は、主任技術者の有資格者を加えて監理技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監理技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、二次検定が難化することを見込んだ講座内容とした。

同社では施工管理技師のほか、第一種・第二種電気工事士や電験三種など多くの建設系資格講座を開講している。

新試験制度対応の講座開講

一次検定の難化を予想

日本建設情報センター（CIC、東京都港区）は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像

を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができるほか、自分のペースで学習できる点も特徴となっている。

建設新聞最終面



ウェブコースの受講イメージ

施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技師は、主任技術者の有資格者を加えて監理技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監理技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技

C I C 技士補など 新試験制度対応講座開講



ウェブコースの受講イメージ

日本建設情報センター(CIC)が、自分のペースで学習できる点も特徴と... 2021年度の施工管理技術検定改正に伴い、二次検定の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことが可能となり、補佐を配置することで監視技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化するのを見込んだ講座内容とした。

C I C 新試験対応講座を開講



ウェブコースの受講イメージ

建設業に特化した教育・研修ソリューションの日本建設情報センター(CIC)、本社(東京都港区)は、2021年度施工管理技術検定制度改正に伴い「一次試験」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる点も特徴となっている。同社では施工管理技士が、自分のペースで学習できる点も特徴となっており、多くの建設系資格講座を開講している。

り、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技士補は、主任技術者の有資格者を加えて監視技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監視技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化するのを見込んだ講座内容とした。

日刊岩手建設工業新聞第2面

技士補など新試験制度対応講座開講 CIC (株)日本建設情報センター(CIC、東京都港区)は、2021年度施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる点も特徴。施工管理技術検定改正により、一次検定合格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技士補は、主任技術者の有資格者を加えて監視技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監視技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化するのを見込んだ講座内容とした。



ウェブコースの受講イメージ

格者は「技士補」の称号が得られる。特に一級施工管理技士補は、主任技術者の有資格者を加えて監視技術者の補佐が可能となり、補佐を配置することで監視技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化するのを見込んだ講座内容とした。

東京建通新聞第3面

C I C 技士補など新試験制度 対応講座を開講



ウェブコースの受講イメージ

日本建設情報センター(CIC、港区)は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「一次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる点も特徴となっている。同社では施工管理技士が、自分のペースで学習できる点も特徴となっており、多くの建設系資格講座を開講している。

日刊青森建設工業新聞第7面

技士補など新試験対応 =C I C= 難化を予想し講座開講

日本建設情報センター(CIC、東京都港区)は、2021年度の施工管理技術検定改正に伴い「二次検定」の難化を予想し、それに対応した講座を開いている。空いた時間に講義映像を視聴するDVDコースやスマートフォン、パソコンで学習するウェブコースがあり、繰り返し見直すことができる点も特徴となっている。同社では施工管理技士が、自分のペースで学習できる点も特徴となっており、多くの建設系資格講座を開講している。



ウェブコースの受講イメージ

補佐が可能となり、補佐を配置することで監視技術者は複数現場を兼任できるようになる。そのため同社は、技士補の存在がより重要になると予想し、一次検定が難化するのを見込んだ講座内容とした。